

○ワークショップ「観光経済経営研究会」

開催責任者 ビジネス研究科 赤壁弘康

2012年9月22日

南山大学名古屋キャンパスJ棟1階特別合同研究室

2013年1月12日

1月13日

南山大学名古屋キャンパスJ棟1階特別合同研究室



ワークショップは以下のとおり、開催された。

◇報告者および題目

9月22日（土）

1. 長谷川高則（南山大学経営学部）
「和歌山県の観光動態における日帰り・宿泊動向と観光地属性との関係について」
2. 中山 傑（南山大学大学院博士前期課程）、赤壁弘康（南山大学）
「不確実な販売動学モデルに基づく企業の最適マーケティング戦略
—市場参入のタイミングと広告戦略のスイッチ・タイミングについて—」
3. 浅井秀明（南山大学大学院博士後期課程）、南川和充（南山大学）、石垣智徳（南山大学）
「非日常的顧客サービス評価に関する研究—婚礼サービスに関する事例—」
4. 江口善章（兵庫県立大学）
未定
5. 白石晃三（神戸学院大学）

「魅力あるまちづくりのための住宅問題」

1月12日(土)

1. 海老良平(神戸学院大学共通教育機構非常勤講師)
「大衆娯楽到来期における小林一三の発想」
2. 浅井秀明(南山大学大学院ビジネス研究科博士後期課程)・南川和充(南山大学経営学部)・石垣智徳(南山大学大学院ビジネス研究科)
「非日常的顧客サービス指標に関する研究」
3. 江口善章(兵庫県立大学環境人間学部)
「観光施設等の需要予測モデルの一例」
4. 澤木勝茂(南山大学大学院ビジネス研究科)【招待講演】
「観光産業と収益管理」

1月13日(日)

1. 中山傑(南山大学大学院ビジネス研究科博士前期課程)・赤壁弘康(南山大学経営学部)
「不確実な販売動学モデルに基づく企業の広告活動に関する最適戦略(修正版)」
2. 長谷川高則(南山大学経営学部)
「地域別の宿泊客動向と観光目的・発地の関係について—和歌山県の観光客動態調査報告書より—」

◇ワークショップの討論内容

9月22日(土)

各報告に対し、45分のプレゼンテーション・報告ののち15分の質疑応答が行われた。

1月12日(土)13日(日)

招待講演を含め、各研究報告に対して活発な質疑応答が行われた。

◇研究成果発表

中山傑・赤壁弘康 「不確実な販売動学モデルに基づく企業の最適マーケティング戦略—市場参入のタイミングと広告戦略のスイッチ・タイミングについて—」、『南山経営研究』第27巻第2号、2012年11月

赤壁弘康・田畑吉雄・斎藤孝一・南川和充・石垣智徳、「特集：観光の経済経営学的研究」、『地域創造学研究』、2012年9月(実際刊行月)

『南山経営研究』第28巻において、募集論文の査読を経て、観光経済経営研究会特集号を発刊する予定